

第二十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第七號

明治三十八年一月三十一日(火曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第七號 明治三十八年一月三十一日

午前十時開議

第一 男爵岩村通俊君請暇ノ件

第二 明治三十五年法律第四十九號中改正

法律案(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

第三 郵便貯金法案(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

第四 北海道官設鐵道用品資金會計法廢止

法律案(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

第五 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽

造變造等ニ關スル法律案(政府提出案)

第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

第六 橋本雄造君選舉爭訟ノ件(資格審査委

員長報告)

會 議

○議長(公爵德川家達君) 諸般ノ報告ハ省略イタシマシテ速記録ニ掲ゲルコトニ致シマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一月四日議員從二位勳一等男爵渡邊清君薨去セラル依テ同月五日弔辭ヲ贈レリ又一月十二日議員侍從陸軍騎兵大尉從二位勳三等侯爵廣幡忠朝君薨去セラル依テ同月十四日弔辭ヲ贈レリ又一月二十日從二位勳一等男爵

内海忠勝君薨去セラル依テ同月二十二日弔辭ヲ贈レリ

一去ル二十六日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

蠶病豫防法案

一同日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ
耕地整理法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松木 宗隆君 副委員長 田中 芳男君
市制町村制中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵萬里小路通房君 副委員長 子爵加納 久宜君
船舶法中改正法律案、船舶職員法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 黑岡 帶刀君
一同日特別委員會ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

船舶法中改正法律案可決報告書

郵便貯金法案可決報告書
一去ル二十七日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

北海道拓殖銀行法中改正法律案、日本勸業銀行法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松平 直亮君 副委員長 富田 鐵之助君

一同日資格審査委員長ヨリ橋本雄造君選舉爭訟ノ件報告書ヲ提出セリ
一去ル二十八日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案特別委員會
委員長 子爵大田原 一清君 副委員長 千坂 高雅君

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案可決報告書

耕地整理法中改正法律案可決報告書
船舶職員法中改正法律案可決報告書

一同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
鐵道抵當法案

擔保附社債信託法案

日本興業銀行法中改正法律案
外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一
岩村男爵請暇ノ件、是ハ三週間ノ請暇デアリマス、御異議が無ケレバ許可イ
タシマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

〔石井省一郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 石井君ハ何デス

○石井省一郎君 唯今……

○議長(公爵德川家達君) マダ唯今第一ノ議事日程ガ終リマシタバカリデ、今議長ガ是ヨリ宣告ヲ致サウト思ッテ居リマス、議事日程第二ニ移リマス、明治三十五年法律第四十九號中改正法律案第一讀會ノ續、特別委員長報告、石井君

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十四日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治三十八年一月二十四日

右特別委員

伯爵柳澤 保惠

男爵平野 長祥

男爵德川 厚

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者ノ意見

第一回國勢調査ヲ行フヘキ時期ハ明治四十三年ヲ以テ最モ適當ナル時期トシ法律ヲ以テ之ヲ確定スルノ必要アリト認ムルニ依リ本案ヲ左ノ如ク修正スヘキモノト信ス

第三條 第一回國勢調査ハ明治四十三年ニ於テ施行ス

〔石井省一郎君演壇ニ登ル〕

○石井省一郎君 唯今議事日程ニ上ボリマシタ議案デゴザイマスルガ、委員長ハ少數意見ヲ差出サレマシタニ就キマシテ私ヨリ委員會ノ經過ヲ御報告ニ及ブヤウニト云フ相談デゴザイマスカラ私ヨリ御報道ニ及ビマス、委員會ハ去ル二十四日ニ開會イタシマシテ出席委員數ハ九名ノ内一名不參デ都合八名デアリマシテ、議題ハ御承知ノ通り此明治三十五年法律第四十九號中ノ第三條改正案デゴザイマス、第四十九條ノ第三條ハ御承知ノゴザイマス通り第一回國勢調査ヲ行フベキ時期ハ三十八年ニ於テ施行スルト云フコトデゴザイマシタ、之ヲ此度提出ノ改正案ハ「第一回國勢調査ヲ行フヘキ時期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトデ、誠ニ簡單ナモノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ色々質問モゴザイマシタガ、質問ハ總テ手續上ノコトデゴザイマシテ、別段御報道ニ及ブホドノコトデモゴザイマセヌ、外ニ少數……修正案ガ出マシテゴザイマス、其修正ノ大體チ一ト通り申上ゲマスルト、我帝國ハ百般ノ進歩ニ對シテ今日マデ國勢調査ハ行届キマセヌコトハ至大ノ闕典デアアル、全國ノ人民モ久シク渴望シテ居ルコトデアアルカラ、是ハ速ニセヌケレバナラヌ次第デアアル、然ルニ此調査チ……第一回國勢調査ヲ行フ時期ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトニナリマス無期ノ延期ノ如ク感ゼシメルト云フ嫌ヒモアル、就テハ國勢調査ハ明治四十三年ヲ以テ施行スルト云フコトニ修正シタイ、丁度四十三年ニ於テハ歐羅巴ノ多クノ國モ國勢ヲ調査スル次第デアアルカラ旁、内外對照シマスルト、大ニ好都合デアアル、大體右様ノ次第デゴザイマス、又一方ノ原案ヲ贊成スル委員ノ說ハ現今ノ時局ハ何人ト雖モ結了スルコトハ豫期シ難イ……イッ結了スルト云フコトハ豫期シ難イコトデアアル、且ツ時局ノ結了ニ至リマスルト戰後ノ經營ニ至ッテハ内外ノ形勢ニ鑑ミテ種々ノ出來事モアルデアラウ、ソレ故ニ百般ノ事物ガ果シテ常態ニ復スルヤ否ヤハ今日ニ於テ何人モ豫期シ難イコトデアアル、然ルニ此豫期シ難イ所ヲ以テ四十三年ト云フコトニ定メマシタ所ガ、又ゾロ法律ノ改正ヲ要スルト云フ次第第二至ッテハ甚ダ不都合ナ次デアアル、依ッテ原案ノ通り可決シテ、萬一早ク常態ニ國勢ガ復シタナラバ何時デモ之ヲ施行スルヤウニ致シタイ、且又政府ニ於テ若シ之ヲ等閑ニ付スルト云フコトデアッタナラバ、貴族院ハ貴族院ノ權能ヲ以テ十分ニ政府ヲ責ムルコトヲ得ルデハナイカ、斯ウ云フ次第デゴザイマシタ、ソレニ就キマシテ決チ採リマシタ所ガ、修正案ハ四名ニ對スル三名ニ致シマ

シテ原案通り可決イタシマシタ次第デゴザイマス、此段ヲ御報道ニ及ビマス
ルデゴザイマス、尙ホ少數意見ニ就テハ柳澤伯爵ヨリ御陳述ニナルデアリマ
セウト考ヘマス、此段ヲ申述ベテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 柳澤伯爵ノ登壇ヲ促シマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 私ハ明治三十五年法律第四十九號ニ就キマシテ委員會ニ
於ケル少數意見ヲ御報道イタシマス、唯今副委員長カラ少數意見ノ大要ハ御
話シナリマシタコトデゴザイマスカラ、大體ニ就テハ之ヲ申述ベルニモ及
ブマイト存ジマスガ、尙ホ一二簡單ニ附加ヘタイト存ジマス、此少數意見即
チ國勢調査ヲ行フ時期ヲ極メ、即チ四十二年ニ極メタイト云フコトハ決
シテ是ハ政府提出ノ案ト矛盾シテ居ルノデハゴザイマセヌ、政府ニ於テモ
國勢調査ノ必要ハ認メテ居ラレルノデゴザイマス、時機ガアラバ必ズヤリタ
イ、併シ時期ヲ極メコトハ目下ノ場合デハ誠ニ困難デモアルシ、又之ヲ勅
令ニ委任シテ置ケバヤリタイ時ニヤラレル、強チ時期ヲ極メルニハ及ブマイ
ト云フ譯デゴザイマス、ケレドモ國勢調査ノ必要ハ既ニ第九議會ト思ヒマシ
タ、兩院ノ建議案モ通過イタシ、又法律案ハ去ヌル三十五年ニ兩院トモ大多數
ヲ以テ通過シタ譯デゴザイマシテ、一日モ早ク之ヲヤリタイト云フコトハ一
般ノ希望デゴザイマス、成ルベク之ヲ適當ノ時期ニシタイト云フコトデア
ル、然ルニ今日マデ國勢調査ニ類シタ事業ハ少シモ政府ニ於テモゴザイマセヌ
ミナラズ兎角此事ニ就テハ後レ馳セニナリ易イ傾キガゴザイマス、既ニ此三
十五年ノ末ノ議會ハ解散ニナリマシタカラ國勢調査ニ關スル所ノ準備費ト云
フモノハ、マルデ出マセヌノミナラズ折角法律ガ出マシテモ效ガ伴ハヌト云
フコトガ隨分ゴザイマス、誠ニ是デハ渴望ヲ充スコトガ出來ニクイト云フ所
カラ之ヲ適當ノ時期ニ讓ツテ……ト申スノハ即チ明治四十三年ト申セバ、今
カラ五年先キデモゴザイマスシ、外國ノ國勢調査ノ時期モ殆ド歐羅巴亞米利
加ノ十二三箇國ガ國勢調査ナル時期デモゴザイマスシ、殊ニ此國勢調査ト
云フモノハ比較對照ト云フコトガ最も必要デアリマスカラ、同一ノ步調ヲ取
ツテ同一ノ時期ニヤリタイト云フ希望デ、戰後ノ經營ニ就テ其當時、委員會ニ
於テモ政府委員ニ於テ御説明ガゴザイマシタ、ソレハ詰リ斯ウ云フコトハ大
問題デアルカラ、總體ニ就テ見ネバナラヌ、ドウ云フコトガ戰後經營ニナル
ダラウカト云フコトハ目下何人モ分ラヌコトデアルカラ、サウ云フ時期ヲ控

ヘテ國勢調査ナルト云フノモ穩當デアアルマイト云フコトデアリマシタガ、
併ナガラ政府委員ノ申サル、通り戰後ノ經營ハドウ云フ風ニナルカ分リマセ
ヌガ、少クトモ政府委員ハ國勢調査ナルモノヲ以テ餘ホド重要ナルモノト看
做ス、或ハ是ガ戰後ノ經營ニ於テモ大問題ニナルカモ知レヌト言ハレタ位デ
アリマスカラ、戰後ノ經營ニ就テドウ云フコトヲヤルカ分ラヌ中ニ、少クト
モ國勢調査ダケハ必要ヲ認メラレテ居ル、然ラバ之ヲ適當ノ時期ヲ定メテヤ
ルト云フコトハ政府ノ意見ト衝突セザルノミナラズ、或ハ最も希望サル、コ
トト少數意見者ハ認メテ居リマス、又此經費ニ就テ政府委員ハ大層心配サレ
マシタガ、併ナガラ是ハ既ニ今年實施シヤウト云フ國勢調査ニ就テモ既ニ政
府ニ於テ準備サレタコトガアリマシテ、之ヲ七箇年繼續二百三十何萬圓ニシ
ヤウト云フ當局ノ立案デアリマスカラ、一時ニ百萬圓出ス、二百萬圓出スト
云フヤウナコトハ無いノデ、多クテ五十萬、少ナクテ二十萬グラキデア
ル、是モ是マデ當局アタリデ立案シマシタノハ最モ統計調査ノ進歩シマシタヤ
リ方デ、即チ中央集查ノ方法ヲ以テヤラウト云フノデ、其位ノコトデア
ル、最モ進歩シタ方法デモ、年々ノ經費ガ僅カ五十萬、少クテ二十萬グラキ、是モ
七箇年デゴザイマス、左ホド是ガ所謂戰後經營ニ於テノ大問題ト云フコトヲ
認メラレタ以上ハ決シテ多額ノ費用デハナイト云フコトハ明カデア
ル、シカ
モ四十二年ニナリマスレバ丁度今カラ五年先キデ、國勢調査ノ準備ヲ致シマ
スニ就テモ明治四十一年頃カラ始メテモ、大分時期モゴザイマスシ、之ニ就
テノ種々ノ用意、種々ノ訓練ヲナスニ就テモ十分デア
ル、ソレデ是ハドウゾ
四十二年ニシタラ宜カラウト云フ少數意見デアリマス、要領ダケ申述ベテ諸
君ノ御賛成ヲ願ヒマス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今柳澤伯カラ少數意見ノ御報告ガゴザイマシ
タ、其中ニ多少、政府委員ノ委員會ニ於テ申述ベマシタ趣旨ヲ幾ラ誤解ニ
ナツテ居リハセヌカト思ヒマス點モゴザイマスルノデ、其事ヲ一言イタシ、
尙此法案ニ就キマシテ政府ノ意見ヲ申述ベテ諸君ノ政府案ニ對スル御贊成ヲ
得タイト考ヘマス、國勢調査ノ必要デアルト云フコトハ政府ニ於テ認メテ居
ルト申スコトハ唯今柳澤伯ノ申サレタ通りデゴザイマス、併ナガラ戰後ノ經
營ノ一ノ大ナル事業トシテ其必要ヲ認メテ居ル……今日ニ於テ認メテ居ルト
云フコトハ政府委員ハ申サナカタノデゴザイマス、詰リ戰後ニ於テ如何ナル

事業ヲ經營スベキカト云フコトハ今日ニ於テ何人モ豫メ申スコトハ出來ナイコトゴザイマス、デ國勢調査ノコトモ或ハ戰後ノ經營ノ一トシテ必要デアルカモ知レナイ、併シ其必要ト申スハ、申スマデモナク相對的ノコトゴザイマス、絶對ノモノデハナイノデゴザイマス、ソレデ戰後ノコトニ就キマシテハ、總體ニ就テ政府モ考ヘナケレバナラヌ、又議院ニ於テモ御考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ委員會ニ於テ申上ケタ次第デゴザイマス、此事業ハ隨分大キナ事業デアルト云フコトハ柳澤伯カラモ御話ガアッテ諸君モ御承知ノコトデアラウトハ存ジマスガ、尙一言イタシマスレバ此經費ノ金額ノ調ベハ數年前ノ調ベデゴザイマスルカラ、今日ニ於テ尙ホ正確デアルト云フコトハ斷言ハ出來マセメケレドモ、其數年前ノ調ベシマシテモ、國費ノミニ於テ二百三十餘萬圓、殆ド二百五十萬近クノ金額ヲ要スルノデゴザイマス、是ハ國費ノミニコトゴザイマスガ此他ニ地方費トシテ少クトモ二百萬以上ノ支出ヲ要シマス、總體通ジテ考ヘマスルト、此事業ノ爲ニハ五百萬内外ノ金額ヲ要スルト云フコトハ殆ド疑ナ容レナイ所デゴザイマシテ、隨分大キナ事業デアル、必要ノ仕事デアルト同時ニ隨分大キナ事業デ、大キナ金ヲ要スルノデアルト云フコトハ、十分ニ御了承テ願ヒタイノデアリマス、明治四十三年ト申スト今日カラ申セバ尙餘ホド遠イヤウデハゴザイマスガ、既ニ柳澤伯カラモ述べラレマシタ通り、是ノ準備ニハ遅クモ四十二年頃ニハ著手イタサナケレバナラヌ、明治四十年若クハ四十一年ニハ之ニ著手ヲ致サナケレバナラヌ、サウシテ其準備トシテ要シマス金額モ少クナイ金額ニナリマスノデゴザイマス、ソレデ勿論政府ニ於キマシテモ、此事業ノ大體ニ於テ必要デアルト云フコトハ認メテ居ルノデゴザイマス、又成ルベク早ク之ヲ實行スル時期ニ達シタイト云フコトハ、柳澤伯ト全ク希望ヲ同ジクシテ居ルノデゴザイマスガ、何分今日ノ時局ニ於テ此時局ガ何時終結スルト云フコトハ何分明言シ難ク又戰後ノ經營ニ就テハ段々柳澤伯ノ御意見モアリマシタガ、是ハ大體ニ就テ考ヘナクテハナラヌコトデ、今日國勢調査ノ必要ヲ今日ニ於テ豫斷イタスト云フコトハ出來難イコトデアリマスカラ、政府ハ其施行ノ時期ヲ勅令ニ委ネマシテ、出來得ベキダケ早ク之ヲ施行シタイ、併ナガラ明治四十二年ニ於テ之ヲ施行スルト云フコトヲ今日ニ決定イタシマスルノハ政府ト致シマシテハ其提案ヲ致スコトモ出來マセズ又議員諸君ニ於キマシテモ、此事ヲ今日ニ於テ御極メニナルコトハ出來難イデアラウト考ヘマス、ソレデ主意ニ於キマシテハ柳澤伯ノ御意見

ニ決シテ御無理ハナイト思ヒマスケレドモ、施行ノ時期ノコトニ於キマシテハ遺憾ナガラ柳澤伯ノ意見ニハ到底御同意ヲ表スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、此邊ヲ宜シク御了承下サイマシテ政府案ニ御賛成ヲ希望イタシマス

〔馬屋原彰君演壇ニ登ル〕

○馬屋原彰君 諸君、唯今特別委員會ノ結果、並特別委員會ノ少數意見ノ報告ガ濟ミマシテ、續イテ政府委員ノ辯明モアリマシタノデアリマスルガ、本員ハ政府ノ希望ノ如ク國勢調査ノ實施ノコトニ付キマシテハ目下ノ時局已ムナ得ザルコトデアアルカラシテ、素ヨリ此點ニ對シテハ異議ハ無イノデアリマス、サリナガラ此調査ノ必要ハ殆ド一般ノ輿望デアリ、且既ニ國家必要ノ事業トシテ之ガ制度ガ設ケラレテアル以上ハ、今日時局ノ爲ニ一時之ヲ延期スルトスレバ、現行法ニ年期ヲ改定シ之ヲ延期スルト云フノガ穩當ノ處置デアルト本員ハ信ジテ居リマスルデ、此政府案ニハ遺憾ナガラ賛成ヲ表スルコトガ出來ナイト云フ次第デアリマス、唯今柳澤伯爵ヨリ少數意見ヲ報告ニナリマシタニ就キマシテ、本員ガ既ニ言ハントスル所モ大概述べラレタノデ、本員ハ尙ホ必要ト認メマスル點ノミチ是ヨリ少シ述べタイト存ジマス、政府案ニ於テ理由ト致サレマス所ノモノハ、本案ノ附紙ニ記載シテアリマスル通り、畢竟スルニ目下戰時ノ際未ダ終局ノ見込ガ付ガナイト云フニ在ツテ其他ハ重モニ經費ノ點ニ歸著スルヤウデアリマス、素ヨリ本員等モ此時局ニ就キマシテハ最モ重キヲ置イテ居ルモノデアリマス、サリナガラ此調査ノ事業タルヤ更ニ申述ブルマデモ無ク一朝年期ヲ定メテ直チニ是ガ執行ノ出來ルモノナルヤ否ヤ、必ズ豫定ノ年限ヲ定メ、其年限ニ依テ順次準備ヲ致シ、ソレカラ實行シ、ソレカラ調査ノ後ニ於テモ尙ホ必要ナル仕事ガ澤山アル、即チ調査ノ結果ヲ統計書ニ作り、印刷ニ付スル等ノ總テノ要務ニ付イテハ、數年ノ期間ヲ與ヘナクテハ是ガ完了ハ期セラレヌノデアリマス、我邦ニ於キマシテハ未ダ經驗ナ經ザル創始ノ事業デアリマスルガ故ニ、殊ニ第一回ノ調査ニ臨ミマシテハ準備ノ調査ト、之ニ伴ウテ起ル所ノ始末ノ一切ノ要務ヲ完了スルマデノ期間ニハ少クトモ六七年ノ年月ヲ與ヘナクテハナラヌト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ本員ハ今日ノ場合ト雖モ先ヅ年期ヲ定メ置キマシテ、今ヨリ數年ノ後ニ幸ニ實行ガ出來レバドウカ實行ヲ致シタイト云フノガ主タル所ノ希望デアリマスル、法律ニ年期ヲ改定イタシマシタ所デ、將來ニ向ツテ已ムナ得ザル事故ガ出來シタ場合ニ於キマシテハ何時法律ヲ改正スルモ妨ナシ、政府

委員ハ此後ニ至ッテ法律ヲ改正スルノハ甚ダ不都合デアルト言ハレマシタガ、何モ不都合ハ無イ、却ッテ現行法ニ規定シテアル所ノ年期ト云フモノヲ削リ去ッテ之ヲ勅令ニ讓ッテ置クコトハ立法上其當ヲ得ザルノミナラス、此事業ノ爲ニ處置ノ當ヲ得タルモノデナイト考ヘマス、又經費ノ點ニ付キマシテハ更ニ申スマデモナク必ズ數年ヲ期シテヤラネバナラヌ事業ノ經費デアリマスルガ故ニ、玆ニ調査年期ヲ少數意見者ノ希望ノ如ク四十三年ト定メ、サウシテ四十年若クハ四十一年ヨリ準備ニ著手スルト致シマシタ所デ、國庫ハ是ガ支出ヲ如何ニスルカト云ヘバ、無論年度割デ支出スルコトト思フ、殊ニ四十年若クハ四十一年ヨリ四十二年マデノ年數ノ外ニ尙ホ實施後ニ費用ヲ要スル所ノ彼ノ統計書編纂及印刷等ノ如キ必要ナル仕事ノ爲ニハ少クトモ更ニ二箇年ノ年月ヲ假サネバナラヌノデ、實施前後ニ要スル年數ヲ通算イタシマスルト經費ハ詰リ五六箇年ノ年度割ヲ以テ國庫ハ出來得ルダケノ支出サスルト云フ方針ヲ執ッテ行ッタナラバ別ニ難事ハ無カラウト本員ハ信ズルノデアリマス、本員ハ斯ノ如キ考ヲ以テ玆ニ二期ノ改定ヲ望ム譯デアリマス、御承知ノ如ク全體國勢調査ノコトハ三十五年ニ法律ニ規定セラレマシタ、デ三十六年度ノ豫算ニ一旦其經費ノ一部分ガ編入セラレマシタガ、不幸ニモ當時衆議院解散ノ爲ニ總豫算ト共ニ立消エニナリマシタ、今回又實施年期ヲ法律ヨリ削リ去ッテ之ヲ無期延期ニスルト云フニ至ッテハ、本員ハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、ドウカ將來時機ノ到來ヲ得テ物ニ致シタイト云フ希望デアリマス……

〔子爵高野宗順君「ドウカ簡單ニ要領ダケ願ヒマス」ト述ブ〕

斯ノ如キ考ヲ持ッテ居リマスルニ依ッテ政府ニ於カレマシテモ此際此年期ヲ法律ニ改定シテ置クト云フ點ニ付キマシテハ絕對ニ反對ハ無カラウト考ヘマス、少シ時間ヲ費シマスガ、御靜ニ願ヒマス……

〔子爵谷干城君「ヤルベシ、ヤルベシ」ト述ブ〕

言ハント欲スル所ハ十分ニ述ベテ置キタイト考ヘマス、更ニ終ニ臨ミマシテ一言ヲ添ヘム、御承知ノ如ク外國ノ事例ニ依リマスルト此調査ノ方法ニ中央集查ト地方分查ト二ツノ仕方ガアル、先刻柳澤伯ヨリモ述べテレタコトデアリマスガ、此程統計局長ヨリ特別委員會ニ參考トシテ示サレマシタル第一回ノ調査費ノ年度割ニ依リマスルニ、其總額ハ二百萬以上ニナッテ居ル、而シテ其調査ノ方法ハ所謂中央集查ノ方法ヲ採用シタノデゴザイマス、本員等ハ是マテ本員等ノ一手ヲ以テ

〔「簡單」ト呼ブ者アリ〕

〔子爵谷干城君「長クヤルベシ」ト述ブ〕

研究ノ爲ニ取調ベテ見タコトガアリマスガ、本員等ガ一手デ取調ベタ所ノ結果ハ、中央集查ニ致シマシテ一百四十萬内外デ濟ムト云フ積リデアル、又地方分查ノ方モ略々取調ベテ見マシタガ、一層減額ヲ見出シマシテ九十萬以下デ濟ムト云フ金數ヲ現出シタノデアリマス、要スルニ此調査ノ經費ノ如キハ此調査ニ關スル計畫ノ如何ニ依リ異同ヲ生ズルモノデアリマスルガ故ニ、政府當局者ニ於カレマシテ更ニ一層ノ精査ヲ遂ゲ、此調査事業ノ許ス限リ努メテ簡便ナル計畫ヲ定メラレムコトヲ本員ハ切ニ希望イタシマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 村田君ハ何デスカ

○村田保君 質問イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○村田保君 本員ハ少數意見者ノ提出者ノ柳澤伯ニ少々御尋ネテ致シタイ、本員ハ此四十三年ト云フコトハ甚ダ賛成シテ居ル、併シハ本員バカリデナク恐ラク滿場諸君モ皆御賛成デアラウト思ヒマス、何トナレバ外國デハ大概十年毎デアリマス、四十二年ハ丁度西曆千九百十年デアラカ外國デモ行ヒ日本デモヤルト云フコトハ便利デゴザイマスカラ極宜カラウト思フ、併ナガラ本員ハ少數意見者ノ御説明ニ就テモ本員ガ賛成ガ出來ナイ所ガアル、ソレデ意見者ニ於テ確答ガアリマスレバ本員モ賛成シヤウト思フデスカ、一體是ハ政府モ固ヨリ四十三年ハ必ズ希望シテ居ルニ違ヒナカラウト思フ、併ナガラドウモ日本ニ於テ今マデ國勢調査ナドト云フコトハシタコトモ無シ、ナカナカ此準備ト云フコトハ容易ナラヌコトダラウト思フ、最初本員ノ考ヘマスニハ衆議院ガ提出シマシテ衆議院ヲ通過シテ、コチラニ參ッテ、コチラデ大多數デナンシタコトデアリマスカラ、此國勢調査ト云フコトニ就テハ誰モ反對ハ一人モ無イ、ケレドモ此施行スル時期ト云フコトハ是ハ一ツノ問題ダラウト思フ、ソレデ政府モ必ズ之ニ就テ法律ヲ出シテ置イテ是非ヤラウト云フコトニ違ヒナイケレドモ、奈何セム其時期ト云フコトヲ見出スコトガ餘程ムヅカシイ、三十八年ナドト法律ニ掲ゲデアリマシタガ、ナカノヤル譯ニイカズ、今後ト雖モ此時期ト云フモノハイツ來ルト云フコトハ政府モ實際ハ確答ガ出來ナイニ違ヒナイ、サウシテ見ルト我々モ同ジコトデハ容易ナラヌ

業デアルシ、ナカ／＼此準備ト云フモノニ四年ヤ五年ハ掛ルモノト見ルト、此時期ト云フモノハ誰モ見出スコトハ出來ナイガ、ソレヲ少數意見者ハ政府ニ於テドウシテモ此時期ヲ見出スコトハ出來ナイニ拘ラズ、少數意見者ニ於テハ必ズ四十二年ニハ……

〔子爵谷干城君 今ノ政府ハ四十三年マデ行ク積リデスカト述ブ〕

谷サンニハ決シテ質問ヲ致スノデハゴザイマセヌ、アナタニ質問イタシタラ其時ニ御答ヘ下サイ、柳澤伯ニ御尋ネテ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ少數意見者ニ於テ必ズ四十二年ニ出來ルト云フ確乎タル御見極メハ付イテ居リマス、付イテ居リマセヌカ、付イテ居リマスナラバ本員ハ贊成スルカモ知レヌ、ソレガ付イテ居ナケレバ贊成ハ出來ナイ

○伯爵柳澤保惠君 御答ヲ致シマス、本席デ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 四十三年ト云フコトハ今段々御質問ガゴザイマシタガ、成ルベクナラ國勢調査ハ早クヤリタイト云フコトガ誰デモノ希望デゴザイマスカラシテ、ソレハ政府モ御同意デゴザイマセウ、四十三年ト殊ニ極メマシタノハ先ヅ此日露ノ關係ガ五年モ十年モ續クト云フコトガアリマスレバ、是ハ如何ナル大問題デアラウトモ仕様ハアリマセヌガ、四十三年ト極メマシタノハ先ヅ此戰爭モ二年三年後ニハ結了スルダラウ、或ハモット早ク之ガ結了スルモノト云フ見込ガアルトシマスレバ、戰後經營ト云フコトガ無論起ル、ソレニ就テ種々ノ大問題ガ起ル、ソレニ就テ國勢調査ニ比較シテソレヨリ大切ナルモノモ同等程度ノモノモアリマセウガ、兎ニ角國勢調査ト云フコトハ最モ施政上ノ爲ニ、一國ノ政治ヲスル上ニ於テ根本ノ標準トナルモノデアアル、即チ外國デハ如何ナル貧弱國ト雖モ國勢調査ヲヤツテ居ラヌ國ハ無い、故ニ戰後ノ經營ガ大問題デアル以上ハ、斯様ナ政治ノ大根本トナルモノヲドウ云フ方法ニ依ッテモ調査シヤウト云フコトハ誰シモ望ムコトデアリマスシ、此根本的ノ調査ヲ措イテハ他ニ比較スベキ所ノ調査モゴザイマセヌカラシテ、假ニ戰局ガ若シ二年三年デ終局スルトシマスルト、丁度四十三年アタリガ……而カモ是ガ準備ニ一年乃至二年掛リマスカラ、四十三年アタリハ最モ適當デアアル、其上ニ四十二年ハ屢申シマシタ如ク西曆千九百十年ニ當リマシテ、十三箇國ノ歐米ノ諸國モヤリマスカラ、比較調査ノ必要ノ上カラ目下ノ時局ノ如何ニ拘ラズ四十二年ニヤルコトハ最モ適當デアアル、又四十二年ニ出來ル

ト云フコトヲ認メテ居リマスノデ、殊ニ四十二年ト致シタノデゴザイマス

○村田保君 左様ナ薄弱ナル意見デハ本員ハ贊成シナイ

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 私ハ柳澤伯爵ノ修正説ニ殘念ナガラ贊成スルノデゴザイマス、マダ早クヤリタイ、抑モ此國勢調査ノコトニ就テハ私ハ素論デアアル、ソレデ此前ノ議會ノ節ニ、豫算會議ノ節ニ私ハ阪谷政府委員ニ質問ナシテ段々應答シタコトガアリマス、是ハ速記録ニ載ッテアリマスカラ、若シ御必要ナラ御覽下サルト分カル、凡テ此國勢調査ヲ行ヒマスニ就キマシテモ、一家ノ我財政ヲシテ行キマスニ就キマシテモ、大小ノ差ハゴザイマスケレドモ、我一家ノ財產ハドノ位アル、又我が田地ヨリ生ズル物ハドノ位アル、我が山林ヨリ生ズルモノハドノ位アルカト云フ、其一家ノ財產ノ力、一家ノ政治ノ有様ヲ能ク調査シテ、ソレカラ初メテ此家政ノ整理ト云フモノモ出來マスル、ソレデナイト自分ノ財產デアリナガラ、自分ノ一家デアリナガラ、少シモドレダケアルモノヤラ分ラナイ、先ヅ間ニ合セニドン／＼或ハ借り或ハ使ッテ行クト云フコトニナツタナラバ、一家ハ紊亂ドロロヘナナイ所謂闇ニナル譯デアリマス、ソレト同ジコトデ堂々タル國家ヲ構造シテカラニ我國家ノ力ト云フモノガドレ程アルヤラ分ラヌ、實ニ明治元年ヨリ既ニ三十八年ト云フ星霜ヲ經ルニ、マダソレヲ必要トシナイト云フモノハ、果シテ是ガ文明國ト誇稱セラル、ヤ否ヤ我々ハ甚ダ信用ハ出來ナイ、ソレデ詰リ歐羅巴ニ於キマシテハ何レノ國ニ於キマシテモ、前々述ベタル通り、皆此國勢調査ト云フモノハソレ／＼ヤツテ居リマス、ソレ故ニ大略此國ノ力ハ此位ト云フコトヲ知ルコトガ出來ル、唯知ルコトノ出來ナイノハドコカト云フト、私ガ心得テ居ル所ハ土耳其デアアル、是非非常ナ酷ナ稅ヲ掛ケ人民ガ非常ニ難儀ヲシテ居リマスケレドモ、ドノ位ノ程度マデ人民ガ負擔ヲシテ居ルカ、ドウ云フコトヲシテ居ルカ、土耳其ノ全體政府ニ於テハ分ラナイ、一ト通り到處デ研究ナシマシタケレドモ、殆ド要領ヲ得ナイデ歸リマシタ、ソレデ何レノ國デモ此國勢ノ調査ハ出來テ居リマスカラ、人ノ力ヲ籍レバ私デモ凡ソ分ル、所ガ此日本ハ斯ノ如ク進歩シ、斯ノ如ク世界ノ喝采ヲ得ルニ拘ラズ最モ文明ヲ代表シテ世界ニ知ラシムベキ此國勢ノ調査ト云フモノハ一ツモ出來テ居ラナイガ、或ル點ニ於テハ之ヲ知ラシメヌガ宜イカモ知レナイ、宜イカモ知レナイケレドモ、是ハ矢張り土耳其ノ如キ鹽梅ニ若シ之ヲ明ニシヤウトシテモ、スル人モ

無シ、又ソレヲ明ニシテ見ルト却ッテ世界ノ信用ヲ失フト云フヤウナ事情ガアル、デ我國ニハサウ云フコトハ無イデアアルカラシテハ一日モ早ク是ハ調査セネバナラヌガ、併シ此時期デアリマスカラ、之ヲ延ベルト云フコトハ是又尤ナコトデアアル、少シモ反對ハ致サヌノデアアル、併ナガラ政府ノ修正案ノ如クニ第三條ヲ修正シテ仕舞ヒマスレバ此法律ハ消エタト同ジコトデ、イツカハヤルノデアラウガ、政府ノ都合次第デハヤラヌノデアアル、サウスルト萬一此政府ガ四十三年、四十五年、四十六年マデ居タラ到底國勢調査ハ止メテ仕舞フト、斯ウ云フコトニナルガ、此政府ガサウ續カレテハタマリマセヌガ、併シ此法律ハ第三條ヲ修正シテ、スッカリ白ニシ「ゼロ」ニシテ仕舞フ法律デアアル、之ニ御同意ナサルナラバ總テ國勢調査ハ無益デアアル、止メタガ宜イ、ソナ面倒ナコトニ金ヲ掛ケルノハ止メルガ宜イト云フノト同ジコトニナリマス、ソレデモ御賛成ナサルカ、私ハ全然此少數意見ガ至當ト考ヘル、唯恨ムラクハモウ少シ早クヤリタイ、ソレダケノ話デアリマス、ドウゾ少數意見ノ成立チマスヤウニ諸君ニ願ヒマス、尤モ此村田君ノ反對ナサルコトハ一向何ノコトカ私ニハ分ラヌ

○村田保君 谷子爵ニ少々御尋ナシタイ

○議長(公爵德川家達君) 村田君、何デスカ

○村田保君 谷子爵ハ此三條ハ政府案ノ通りニスルト是ハ白イ紙ニナルト云フコトデアリマスガ、總テ時期ト云フモノハ他ノ勅令ニ依ッテ定ムト云フコトガ澤山アリマス、是ハ御存ジナイノデスカ

○子爵谷干城君 知リマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガアリマセヌバ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、御注意ヲ致シテ置キマスガ、柳澤伯爵ノ修正說ノ採決ハ二讀會ニ移リマシタ後ニ致シマスカラ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○子爵谷干城君 二讀會ニ移スヤ否ヤノ今御尋ネデゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 今ハ二讀會ニ移スヤ否ヤノ決ヲ採リマス、谷子爵ハ何デスカ

○子爵谷干城君 然ラバ二讀會ニ移ス論デ、修正說ヲ出スノデス

○議長(公爵德川家達君) 修正說ノ採決ハ今イタシマセヌ、ソレハ二讀會ニ移シテカラ……二讀會ニ移シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ二讀會ニ移スコトニ致シマス

○伯爵德川達孝君 直ニ議事日程ヲ變更シテ二讀會ヲ開カレムコトナ……

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○子爵谷干城君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 直ニ二讀會ヲ開イテ御異存ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ第二讀會ヲ開キマス

○議長(公爵德川家達君) 柳澤伯爵ニ伺ヒマスガ、別ニモウ修正說ノ説明ハアリマセヌカ

○伯爵柳澤保惠君 二分バカリ述べタイト思ヒマス、此所カラデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 二分ホドナラ、ソコデ宜シウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 ソレデハ修正案ニ就テ極簡單ニ申シマスガ、モウ既ニ先輩諸君ノ御議論モゴザイマシタノデ、殊更ニ申上ゲマセヌガ、唯一ニ申上ゲタイ點ハ國勢調査其事ガ大事業ト云フコトハ諸君御承知デアアルカラ申シマセヌガ既ニ臺灣デ今年カラ國勢調査ヲヤリマス、ソレハ名目ガ戸口調査費ト云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ臺灣デサヘモ既ニ二十萬圓ヲ三箇年繼續費用トシテ今年ハ八萬圓以上カラ金ヲ出シテ居ル、成ルホド臺灣ノ國勢ニ就キマシテハ隨分分ラヌコトモ多ウゴザイマセウ、併ナガラ其分ラヌ程度モ殆ド我本國ノトサウ違ハヌノデアリマスカラ殊更ニ今日別ニヤル必要ガ無イト云ヘバ、ソレマデデアリマスガ、併ナガラ臺灣デモ二十萬圓ホド掛ケテアリマス、其本タル所ノ本國ガ今日マデ更ニ無イ、國勢調査ヲ其儘ヤラヌデ置クト云フコトハ誠ニ遺憾デアリマスカラ、此點ニ付テ諸君ノ御考ヘチ煩ハシタイト思ヒマス、ソレカラ經費ノコトモ先キホド申シマシタ通り年度割デ極少イノデアリマス、ソレデサウ御心配モ無イト思ヒマス、一言申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌバ採決ヲ致シマス、此採決ハ貴族院規則第百七條ニ據リマシテ議長ハ必要ト認メマスカラ、記名投

票ヲ以テ採決ヲ致シマス

〔馬屋原彰君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 馬屋原君ハ何デスカ

○馬屋原彰君 チョット伺ヒマスガ、唯今ノ御宣告ノ事柄ハドチラニナルノデスカ

○議長(公爵徳川家達君) 議長ガ宣告イタシマシタアトデ願ヒマス

○馬屋原彰君 左様デスカ

○議長(公爵徳川家達君) 議長ガ宣告ヲ致シマスカラ御靜肅ニ願ヒマス、御注意ヲ致シテ置キマスガ、記名投票ヲ行フ場合ハ規則ノ第八條ヲ適用イタシマスカラ、柳澤伯爵ノ修正説ヲ可トセラル、議員ハ白色票、否トスル議員ハ青色票ヲ投票函ニ御投入ニ相成ルコトヲ希望イタシマス……是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 開票イタシマス

〔投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票ノ結果ヲ申上ゲマス、總出席數二百十四、柳澤伯爵ノ修正ヲ可トスルモノ八十四、否トスルモノ百三十、是ニ於テ柳澤伯爵ノ修正説ハ否決セラレマシタ、原案ニ御異存ナイト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナケレバ原案可決ト認メマス、是ニ於テ第二讀會ヲ了リマシタ

○子爵堤功長君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトナ……

〔贊成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス、……原案御異存ナイト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ第二讀會ノ決議案通りニ決シマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第三、郵便貯金法案第一讀會ノ續、特別委員長報告、柴原君

郵便貯金法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十六日

右特別委員長

柴原 和

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔柴原和君演壇ニ登ル〕

○柴原和君 此郵便貯金法案特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、是ハ去ル二十六日ニ委員會ヲ開キマシテ、政府委員ノ説明モアリ各委員カラモ詳細ナル質問ガ段々出マシテ、殊ニ傍聴ノ即チ委員外ノ議員ヨリモ質問ガ出タ位ノコトデゴザイマスガ、併シソレチ一々御報告申シマスノハ甚ダ煩ハシウゴザイマスルシ、又御報告申ス必要モ無イト考ヘマスカラ、其政府委員ノ説明、委員ノ質問等ノ要點ヲ參酌シマシテ僅ニ一二ノ重立ッタルモノヲ簡單ニ申上ゲヤウト考ヘマス、此現行ノ郵便貯金條例ト申シマスモノハ明治二十三年ノ制定ニ係リマシテ、ソレカラ十數年ノ歲月ヲ經ルニ隨ヒマシテ、此時勢ノ進運ト經濟ノ發達ニ伴ヒマシテ、其改良擴張ヲ要スルコトガ多々ゴザイマスルニ付キマシテ、本案ヲ提出セラレマシタ次第デアリマシテ、其改良擴張ノ重モナルモノハ即チ外デハゴザイマセヌ、現行法ノ第四條ニ「郵便貯金一人ノ預ケ金總額ハ元利合セテ五百圓ヲ超過スルコトナ得ス」トアリマスルノチ、本案第三條ニ「千圓以下」ト擴張セラレマシタデアリマス、又次ノ第四條ニ其擴張セラレタルノミナラズ除外例ヲ設ケラレマシタノデゴザイマス、此除外例ノ中ニ付キマシテ、第四號ニ載セテゴザイマスル「振替計算ノ爲ニスル預入金」ト云フコトハ殊ニ是ハ新規ノ案デゴザイマシテ、其預ケ人ハ相互ニ貯金ノ振替受拂ヲナシ又預ケ人ノ請求ニ依リマシテ其貯金ヲ第三者ニ拂渡ス等、公衆ノ便利ヲ計ラレタ方法デアルト申スコトデアリマス、ソレカラ第十條ノ「十年間」云々ト申シマスノハ、現行法ノ第十一條ニ「二十年間貯金ノ預入ヲ爲サス」云々ト云フコトニ對シテ修正セラレタモノデゴザイマス、是ハ段々質問モ致シマシテ見マスニ零碎ナル十錢乃至二十錢バカリノ僅カノ預金ヲ致シマシテ其儘十年モ十二三年モ其儘ニシテ置クコトガゴザイマス

シ、ドウシテモ整理ガ付キ兼ネル、現行法ノ實施以來未ダ二十年ニナリマセヌケレドモ其弊害ガ續々ト現出イタシマシテ、既ニ今日預ケ人ノ總數ガ四百萬人餘ノ中デ、所在不明ノ者ガ三萬三千人ノ多キニ至リマシテ、實ニ當局者ニ於キマシテ整理ニ困難スル爲ニ二十年ヲ「十年間」ト改正シテ預金人ノ權利ヲ殺グヤウナレドモ、是ハ致方ガ無イト申スコトデアリマシタ、又本條即チ十八條ニ衆議院カラノ修正ガゴサイマス、是ハ政府ニ於キマシテ同意セラレタカドウカト云フ質問モゴザイマシタガ、其實問ニ對シテノ答ハ是ハ別段主意ニ變ツタコトハ無イノデアル、到底此附則ノ第二十條ト同ジコトデ、人民一般ニ對シテ、申サバ念ヲ入レ深切ニ催告通報ヲスル次第デアリマスカラ、政府委員モ喜ンデ同意贊成ヲ致シタト申スコトデアリマシタ、ソレカラモウ一ツ御報告申上ゲタイコトハ此委員ヨリ目下ノ時局即チ目下ノ戰局ニ對シテ預金ノ現況ハ如何デアルカト申ス質問ニ對シテ、田遞信次官ハ申サレマスルニ、最近ノ三十六年ノ十二月ニハ三千四百七十七萬圓餘ノ額デアッタ、而シテ三十七年ノ二月ヨリ戰爭ガ始マリマシタニ付テ、定メテ減少スルダラウト其結果如何ト甚ダ憂慮シテ居ッタ、然ルニ最近ノ今年一月二十一日ノ調査ニ依リマスト三千八百八十九萬圓、即チ前年ノ三千四百四十七萬圓餘ニ對シテ七百萬圓餘ノ増加ガアッタ、ソレカラ預ケ人ノ高ハ四百四十萬人ノ増加ヲ見ルニ至ッタ、甚ダ満足デアルト言ッテ喜ンデ答辯カアリマシタコトデゴザイマス、是ハ成ルホド僅カ一年ト一月二十日バカリノ間ニ斯ノ如キ預ケ人ノ多數ヲ見マシタ、是ハ全ク舉國一致、公衆一般ニ此戰局ニ對シテ聊カ疑懼ノ念モゴザイマセズ安心シテ預金ヲ爲シタト云フ結果ハ甚ダ喜バシイコトト考ヘマス、故ニ少シク長クナリマシタケレドモ此一事ハ特ニ諸君ニ報告ナシテ其喜ビヲ同ウスル譯デアリマス、本案ハ前ニモ申述べマシタ如ク現行法ニ改正即チ修正改良ヲ加ヘテ燒直シニ鍛テ付ケテ善良ニナッタ法案ト考ヘマシタ故ニ委員會ニ於キマシテハ十八條ノ衆議院ノ修正ニモ同意イタシマシテ、又原案ニモ全然贊成イタシマシテ、委員會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デアリマス、依ッテ滿場諸君ニ於カレマシテモ御同意御贊成下サレマシテ格別ノ御異議ガゴザイマセネバ速ニ二讀會ヲ開カレマシテ可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔子爵三島彌太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕
○議長（公爵德川家達君） 三島子爵ハ……
○子爵三島彌太郎君 質問ヲ致シタウゴザイマス、政府委員ニ伺ヒタイノデ

ゴザイマスガ、此度ノ郵便貯金法案ヲ見マス、今日マデ法律ノ中ニアッタモノガ命令ヲ以テ定ムルコトニナッタ、又勅令ヲ以テ定ムルコトニナッテ居タコトガ命令ヲ以テ定ムルコトニナッテ居ル所ガ段々ゴザイマス、詰リ餘ホド命令ヲ以テ行フ範圍ガ廣クナッタデアリマス、サウ云フ風ニナリマス、ト云フト或ハ法ノ精神ヲ曲ゲテ解シマス、種々ナルコトガ出來ヤウカト思フノデアリマスガ、此第八條ノ「郵便貯金ノ利子ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トゴザイマスノガ現行法デハ「利子ノ割合ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト明ニ書イテアルノデゴザイマス、シマス、利子ニ關スルコトハ命令デ何所マデモ規定ガ出來ルヤウニ見エマスガ、此法ヲ御作リニナッタ精神ハ是ハ大概限リガアラウト思フ、此規定ハドノ位マデノ所ガ命令デ出ルノデアリマス、カ、現行法デ行ッテ居ルコトダケニ止マルノデアリマス、カ、一應御説明ヲ願ヒマス

〔政府委員田健治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（田健治郎君） 唯今ノ三島子爵ノ御質問ニ答ヘマス、此命令デ以テ極メマスル事柄ハソレ／＼各條ニ就キマシテ申上ゲマスレバ、餘ホド細カクナリマスルデアリマセウガ、併シ唯今ノ第八條ノ例ニ付テ申上ゲマスルコト云フト、是ハ現行法ニハ勅令トゴザイマスガ、ソレヲ總テ命令ト改正イタシタノデゴザイマス、其意味ハ別ニ變リハゴザイマセヌ、即チ利子ノ割合ハ矢張り勅令ヲ以テ定メラル、積リデアリマス、デ此命令ト變ヘタカラ今マデ勅令デ定メタモノヲ或ハ命令トカ省令トカ云フモノヲ以テ定メルコトニスルト云フ事柄デハナイノデゴザイマス、其他ニ於キマシテモ、ドウシテモ命令デ極メマセヌト一定ニ法律デ以テ極メテ置イテ實際運行上ニ甚ダ不便ヲ來タスト云フ箇條ガ澤山ニゴザイマス、ソレ故ニサウ云フモノハ已ムヲ得ズシテ命令デ極メルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、ドウカサウ御承知ヲ願ヒマス
○子爵三島彌太郎君 尙念ノ爲ニ伺テ置キマスガ、サウ致シマスルト是ハ到底私共ハサウ云フコトハ出來ヌト思ヒマス、念ノ爲ニ伺ッテ置クノデゴザイマスガ、郵便貯金若クハ其利子ナドハ割増金ヲ付ケルト云フコトモ、是ハ利子ニ關スル規定ヲ擴メテ行ケバ此規定ヲ適用セラレルコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、サウ云フコトハ此法案デハナサラヌ積リデゴザイマス、カ、尙一應御辯明ヲ願ヒマス

○政府委員（田健治郎君） 割増貯金ノコトニ付キマシテハ隨分世間ニモ議論

が多々ゴザイマス、併シ此命令ヲ以テ定ムト云フ第八條ノ意味ハ、ソレマデ合シデハ居ラヌノデゴザイマス、現行法デモ勅令デ以テ定メルモノハ……之ヲ命令デ定メルト云フコトニシタノガ精神デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ探リマス、第二讀會ニ移スベキモノトシテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ第二讀會ニ移スコトニ致シマス

○名村泰藏君 ドウカニ讀會ヲ直キニ御開キニナルヤウニ致シタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ナ……

○名村泰藏君 開クト云フノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ……

○名村泰藏君 ハイ

○男爵金子有卿君 賛成

○子爵三島彌太郎君 賛成

〔此他〕賛成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、別ニ御異議ガゴザイマセネバ全部ヲ問題ニ供シマス

○男爵金子有卿君 第十八條ニ衆議院ノ修正ガゴザイマスカラ之ヲ全部問題ト云フコトハ如何デゴザイマセウカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガアレバ條ヲ別ケルコトニ致シマスガ、總テ原案デゴザイマスルカラ全部ヲ問題トシテモ宜カラウカト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 原案御異存ナイト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○名村泰藏君 第二讀會モ續イテ御開キヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ此ニ於テ第三讀會ハ終リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第四、北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告

北海道官設鐵道用品資金會計法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十五日

右特別委員長

子爵一柳 末徳

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵一柳末徳君演壇ニ登ル〕

○子爵一柳末徳君 特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、特別委員會ニ於キマシテ、政府ノ説明ヲ求メマシテ審議ヲ盡シマシタガ、此理由書ニゴザイマスル通り明瞭ナル次第デゴザイマスカラ、異議ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシテゴザイマス、尙ホ御質問ハドウカ政府委員ニ御尋ネ下サイマシタ方ガ明瞭ニ御分リニナリマセウト存ジマス、本法案ハ簡單明瞭ナル法案デゴザイマスカラ、ドウカ讀會ヲ省略サレマシテ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵正親町實正君 讀會省略ニ賛成

○子爵堤功長君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○高木兼寛君 賛成

○森山茂君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 定規ノ賛成ガアッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ本案ハ可決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 次ハ日程第五、臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案第一讀會ノ續、特別委員長報告、大田原子爵

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十八日

右特別委員長

子爵大田原一清

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵大田原一清君演壇ニ登ル〕

○子爵大田原一清君 唯今議題ニ上ボリマシタ臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案、是ハ去ヌル二十八日ニ正副委員長ノ選舉ヲ終リ續イテ開會イタシマシタ、然ルニ御覽ノ通り簡單ナル案デゴザイマシテ、委員中ニハ一ノ議論モ無ク、又別ニ申上ゲマス程ノコトモゴザイマセヌ、總テ理由書ニ書イテアル通りデゴザイマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴイザマス、併シチヨット一言申上ゲテ置キマスガ、此法案ヲ提出ニナリマシタニ付キマシテ、政府委員カラ申述ベラレタコトガゴザイマスカラ、ソレヲ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、是ハ臺灣銀行ニ於キマシテハ、諸君モ御承知ノ通り通常銀貨幣ヲ以テ行ハレテ居リマス、然ルニ段々犯罪者ガ多クナリマシテ、此法案ヲ以テ取締ラナケレバナラヌヤウニナリマシタ、殊ニ

昨夏ヨリハ金貨幣ヲ發行スルコトニナッテ、愈々犯罪者ガ殖エル景況ガアルカラシテ、此法案ヲ提出シタト云フコトデアリマス、斯ノ如ク簡單ナル案デゴザイマスカラ、ドウカ別段御異議ガゴザイマセネバ本案モ讀會省略デ可決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○南郷茂光君 讀會省略ニ賛成

○森山茂君 賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 大田原子爵ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアッタヤウニ思ヒマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ此ニ於テ本案モ可決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第六ニ移リマス、選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告、名村君

貴族院議員橋本雄造ニ係ル當選無効ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通り判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

明治三十八年一月二十七日

資格審査委員長

名村 泰藏

貴族院議長公爵德川家達殿

貴族院議員當選無効ノ訴ニ對スル議決報告書

本訴ハ原告長崎縣西彼杵郡時津村五百六十七番戸平民商貴族院多額納稅者議員互選人三山近六ヨリ同縣長崎市江戶町七番戸平民商貴族院多額納稅者議員當選人橋本雄造ニ對シ貴族院議員當選ノ無効ヲ訴出テタルモノトス

原告請求ノ要旨

明治三十七年六月十日長崎縣廳ニ於テ貴族院多額納稅者議員選舉ヲ舉行セラレ其選舉ニ於ケル互選資格者十五名ノ投票ヲ點檢シタル結果ハ被告七票原告五票訴外人某一票無効投票二個ト告知セラレタリ從テ被告ハ最多數ノ

投票ヲ得タル故ヲ以テ當選者ト確定シタルナリ然ルニ右被告ノ得票中ニ於テ山崎喜平治ナル者カ投票シタル一票ハ當時同人疾病ニ罹リ居リテ自署ヲ爲スコト能ハサリシニ因リ他人ナシテ被選人タル被告ノ氏名及ヒ自己ノ氏名ヲ代署セシメタル違法ノモノナルカ故ニ其效力アルコトナシ從テ被告ノ得票ハ總計六個ト爲サハルヘカラス

又選舉管理者ニ於テ無効ト決定シタル二票ハ寺田半次郎本多西男ノ兩名カ原告ニ投票シタルモノニシテ其投票自身ニハ毫モ違法ノ點ナキモ選舉ノ當日此兩名ハ事故ノ爲メ選舉會場ニ至ルコト能ハサリシニ因リ其事由書ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シテ四折ニセル自署ノ投票ト共ニ之ヲ他ノ互選人ニ委託シ投票ヲ爲サシメタルモノナルヲ以テ貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ニ所謂投票ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シ云々ノ點ニ違背セリトノ理由ノ下ニ無効ト決定セラレタルモノナリ然ルニ同條ハ其規定ニ違背セル投票ノ無効ナルコトヲ明言セサルノミナラス第十六條第二項ノ如キ投票其者ノ效力ニ關スル規定ニ非スシテ單ニ投票ヲ爲スノ手續ヲ定メタルモノニ過キス實體ト手續トノ間ニ輕重ノ差別アルコトハ同規則第十九條ニ「投票效力ノ有無ニ付疑義アルトキハ選舉管理者之ヲ決定ス」トアルニ徴シテ明瞭ナリトス故ニ投票ノ手續上ニ些少ノ瑕疵アルモノカ爲ニ投票其者ヲ無効トスルノ趣意ニ非ラサルコト毫モ疑ヲ存セサルナリ

上記ノ理由ニ因リ原告ハ告知セラレタル五票ノ外尙二票ヲ得タルコト事實ニシテ合計七票ヲ得タルモノナリ之ニ反シテ被告ノ得票ハ前記山崎喜平治ノ投票ヲ控除シタル結果トシテ總計六個ヲ超過セサルカ故ニ原告ハ結局當選者タル地位ヲ得ヘキモノトス假ニ選舉管理者ノ告知セシ如ク山崎喜平治ノ投票ヲ有效トスルモ被告ノ投票ハ原告ノ得票ト同數ナリ而シテ原告ハ被告ヨリモ年長者ナルカ故ニ互選規則第二十條第二項ニ依リ當選者タルコト疑ヲ容レス」ト云フニアリ

被告答辯ノ要領

互選者山崎喜平治ノ投票ニ於ケル選舉人及ヒ被選人ノ氏名カ代署ニ係リシコトハ選舉管理者ニ於テ認知セル事實ニ非ス假ニ原告ノ主張スル如ク代署ナリシトスルモ代署ハ貴族院多額納稅者議員互選規則ノ禁止スル所ニ非ス特ニ自署ヲ必要トスル明文ナキ以上ハ代署ニ依ル投票ト雖モ其效力アルモノト解釋セサルヘカサルコト言フ俟タサルナリ

又寺田半次郎及ヒ本多西男ノ投票ハ封緘及ヒ表面ノ記名捺印ヲ缺キタルコト原告モ自認スル事實ナルカ故ニ互選規則第十七條ニ違背セルモノナルコト明ナリ而シテ違法ノ投票ハ其效力ナキコト當然ニシテ特ニ明文ヲ必要トスルコトナシ蓋同條ノ本旨ハ投票ノ真正ナルコトヲ認知スルノ標準ヲ定メ以テ其眞否ニ付キ爭議ノ發生ヲ防止スルニ在ルコト疑ヲ存セス是選舉ノ目的ヲ達スル爲メニ必要ナル手續ニ外ナラス故ニ形式上ノ要件ニ過キサルコトヲ理由トシテ其效力ニ影響ナキモノト爲スハ失當ノ見解タルコトヲ免レス」ト云フニ在リ

議決ノ理由

茲ニ原告被告ノ爭點ニ就キ之ヲ審按スルニ原告ハ先ツ互選人山崎喜平治ノ投票ハ代署ニ係ルカ故ニ無効ナルコトヲ主張スト雖モ此點ニ於テハ被告ノ答辯スル如ク特ニ自署ヲ必要トスル法文ナキニ因リ代署ヲ禁スルモノニ非サルコトハ一般法規ノ解釋上殆ト疑ナキ所トス例ヘハ明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第三十六條ノ如キ自ラ氏名ヲ記載スヘキ明文アル場合ト同一ニ論スヘキニ非サルナリ

次ニ原告ハ互選人寺田半次郎及ヒ本多西男ノ投票ハ封緘及ヒ表面ノ記名捺印ヲ缺キタルモ是唯投票手續ニ關スル微細ナル瑕疵ニ過キスシテ投票其者ノ效力ニ影響セサルコトヲ主張スト雖モ此投票ニ關スル手續ハ被告ノ陳述スル如ク投票ノ真正確實ナルコトヲ保障スル一要件ニシテ單ニ注意ヲ喚起スル爲メノ條規ト見ルヘキニ非ス原告カ之ト區別スヘキモノトセル第十六條第二項ノ規定ト雖モ畢竟投票ノ方式ヲ定メタルモノニ外ナラス是等ノ要件中ニ於テ主從輕重ノ差別ヲ立ツルニハ到底其標準アルコトナク何レモ投票ノ眞實ナルコトヲ確保シ以テ選舉ノ目的ヲ貫徹スルノ趣旨ニ出テタルモノト解スヘキナリ苟モ斯ノ如キ公益上ノ理由ニ基ケル方式ニ違背セル投票ナル以上ハ其無効ナルコト論ヲ俟タス故ニ投票ノ效力ニ付キ原告ノ主張スル如キ區別ヲ爲スハ失當ノ解釋ト謂ハサルコトヲ得ス

判決

上記ノ理由ニ基キ本件ハ左ノ如クニ判決スヘキモノナリト議決ス
貴族院ハ被告長崎縣選出多額納稅者議員橋本雄造ノ當選 無効ニ非スト判決ス

〔名村泰藏君演壇ニ登ル〕

○名村泰藏君 橋本雄造君ニ係ル訴訟ノ事件ハ審査委員會ニ於テ四回委員會ヲ開キマシテ討議ヲ致シマシタ、四回目ニ橋本雄造君ガ勝利ヲ得ルコトニ決定ヲ致シマシタノデアリマシテ、報告書ヲ差出シテ置キマシテゴザイマスカラ御承知ノコトト存ジマス、然ルニ此訴訟ノ中ニ骨子トモ言フベキモノハ多額納税議員互選規則ノ十七條ニ就キマシテ原告ハ頗ル十七條ニ違背ヲ致シテモ十七條ト云フモノハ唯手續上ノ箇條デアルカラ決シテ重キヲ置クベキモノデナイ、縱シ違背ヲ致シテモ、ソレデ投票ガ無効ニナルト云フヤウナコトハ決シテ無イ筈、又十七條ニ無効トスルト云フ明文モ無イコトデアルカラ制裁ハ無キモノデアルト云フコトヲ唱ヘテ居リマス、被告ハ決シテサウ云フモノデハナイ、手續上デアラウトモ此投票ヲ確實ニスル爲ノ投票箇條デアッテ見レバ決シテ制裁ノ無イモノデハナイ、必ズ制裁ノアルベキモノデアルト解釋ヲシナケレバナナイト云フノガ被告ノ主張スル所デアリマス、ソレニ付キマシテ委員會デ段々討議ヲシテ見マスルト、ドウモ原告ノ言フ所ハ甚ダ不穩當デアル、投票ナスル爲ノ要件デアルナラバ、ドウシテモ制裁ガ書イテナクテモ無効ト解釋ヲシナケレバ穩當デナイト思ヒマスル、其邊カラ致シマシテ委員會ニ於キマシテハ報告書ニ詳シク書イテアリマスル如ク原告ガ申立ツル所ハ當然無効ナ申立デアルト云フコトニ決シマシテソレデ委員會ニ於キマシテ、其判決ヲ致シマシタノハ「貴族院ハ被告長崎縣選出多額納税者議員橋本雄造ノ當選ハ無効ニ非スト判決ス」斯ノ如ク判決ヲ下シマシタ次第デアリマスカラ、ドウカ満場ノ諸君、委員會ノ決議ニ御賛同アラムコトヲ切望イタシマスノデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌケレバ採決ヲ致シマス此採決ハ本院規則百九條ニ依リマシテ無名投票ヲ以テ採決イタシマス、靜肅ニ願ヒマス、念ノタメ諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、無名投票ヲ行フ場合デゴザイマスカラ本院規則百十條ニ御從ヒニナルコトヲ希望イタシマス、即チ問題ヲ可トスル議員ハ白球ヲ、否トスル議員ハ黒球ヲ函ヘ御入レテ願ヒマス是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 チヨット伺ヒマスガ、議場ノ名刺ダケ持ッテ出レバ宜ウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 無論左様デゴザイマス

○男爵金子有卿君 報告ニ賛成ノ者ハ白球デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 問題ヲ可トスル議員ハ白球、否トスル議員ハ黒球、規則通りデアリマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵德川家達君) 御注意イタシマスガ、ドウゾ無名投票デアリマスカラ御名札トソレカラ此所ノ演壇ノ下ニアル球ヲ御入レテ願ヒマス、御注意ヲ致シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ開票ヲ致シマス

〔投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵德川家達君) 無名投票ノ結果ヲ申上ゲマス、投票總數百九十四、可トスル者、即チ白球百九十、否トスルモノ即チ黒球四、委員會ノ決議通りニ決シマシタ、此ニ於テ本日ノ議事ハ終リマシタ、明日ハ必ズ本會議ヲ開キマスガ、議事日程ハ唯今決定イタシ兼ヌマスカラ、アトヨリ申上ゲマス、本日ハ此ニ於テ散會イタシマス

午後零時十九分散會